

平成25年度予算見積調書（9月補正予算）

課室名 医療整備課
担当名 医師確保対策担当

内線 3643

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B3	小児医療センター新病院建設費（総合医局機構）負担金			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	小児医療センター新病院建設費（総合医局機構）負担金		
事業期間	平成25年度～平成29年度	根拠法令				戦略項目 分野施策	03 医療の安心 010303 医師・看護師確保対策の推進			
1 事業の概要	<p>総合医局機構は、医師不足病院への医師の紹介など総合的な医師確保対策を実施するとともに、地域医療教育センター(仮称)を設置し、医師・看護師等の研修支援や小児科専門医の育成を行う。</p> <p>総合医局機構をさいたま新都心医療拠点の付加機能として設置するため、設計業務等の費用を負担する。</p> <p>(1) 小児医療センター新病院建設費（総合医局機構）負担金 23,684千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 小児医療センター新病院建設費（総合医局機構）負担金 23,684千円 総合医局機構は、医師不足病院への医師の紹介など総合的な医師確保対策を実施するとともに、地域医療教育センター(仮称)を設置し、医師・看護師等の研修支援や小児科専門医の育成を行う。 総合医局機構をさいたま新都心医療拠点の付加機能として設置するため、設計業務等の費用について面積按分に応じ、病院事業会計に対して負担する。</p> <p>(2) 事業計画 平成25年度 設計等 平成26年度 建設工事等 平成27年度 建設工事等 平成28年度 開設、事後の環境アセスメント等 平成29年度 事後の環境アセスメント</p> <p>(3) 事業効果 総合医局機構において医師確保対策を実施することと併せて、シミュレーション機器を活用した医療技術の研修等を行うことで研修体制を充実させ、医療技術の向上を図ることができる。 このことにより医師の確保が図られ、医師の地域偏在などを解消するとともに、医療人材を育成することができる。</p> <p>(4) その他 【施設概要】 ・場 所： 県立小児医療センター新病院（さいたま新都心第8-1A街区内）の8階南側フロアー ・専有面積：約1,375㎡ ※ 県立大学サテライトキャンパスと一部を共用する。（約156㎡） ・主な機能： 医師・看護師等の研修のため、シミュレーション機器を備えた訓練室や診察シミュレーション室を設置する。</p>						
2 事業主体及び負担区分	(1) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
補正要求額・審査額	県 債						一般財源	補正後の予算額	当初予算額	現計予算額
決	23,684	12,000					11,684	23,684		
要	23,684	12,000					11,684	23,684	うち一財	うち一財
現	0	0					0			

【審査の考え方】

さいたま新都心医療拠点の付加機能として、医師・看護師等の研修支援や小児科専門医の育成等を行うため、総合医局機構の必要性を認め、要求額を措置した。